

MetaMoJi Cloud と Microsoft Entra ID の連携ガイド

シングルサインオン／プロビジョニングの利用

第 12 版

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Apple、iPad は、Apple Inc.の商標です。
- Microsoft、Excel、Internet Explorer および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Android、Google、Google Drive、Google Play は Google Inc.の商標または登録商標です。
- Apache、OpenOffice、Apache OpenOffice は Apache Software Foundation の商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

目次

1. はじめに	3
1.1. 概要	3
1.2. アカウント連携オプション	4
1.3. 他のサービス	4
1.4. MetaMoJi Cloud	4
1.5. 対象製品.....	5
1.5.1. アプリケーション・ツール	5
1.6. 管理者ガイド	5
1.7. すでに〔他のサービスでログイン〕をご利用中の方へ	5
2. MetaMoJi Cloud と Microsoft Entra ID を連携する	6
2.1. 共通の設定	6
2.1.1. Web 管理ツールにログイン	6
2.1.2. Web 管理ツールの[カスタマイズ設定].....	7
2.1.3. ユーザー情報を登録・確認する	8
2.2. 〔他のサービスでログイン〕の設定	10
2.2.1. Microsoft Entra ID に MetaMoJi Cloud の情報を登録する	10
2.2.2. シングルサインオン情報を MetaMoJi Cloud に登録する	16
2.2.3. Microsoft Entra 管理センターでユーザーを割り当てる	18
2.3. ユーザー情報をプロビジョニングする設定	20
2.3.1. Web 管理ツールでプロビジョニングに必要な情報を記録する	20
2.3.2. プロビジョニングで新規登録されるユーザーの初期状態を設定する	20
2.3.3. プロビジョニング情報を Microsoft Entra 管理センターに登録する	21
2.3.4. Web 管理ツールでユーザー情報を確認する	24
3. 付録	25
3.1. ログアウト情報を追加登録する	25
3.1.1. MetaMoJi Cloud のログアウトに必要な情報を記録する	25
3.1.2. Microsoft Entra 管理センターにログアウトに必要な情報を登録する	25
3.2. Windows 版でログイン・ログアウトすると、Microsoft Edge が起動する	27

1. はじめに

本書では、最新版のeYACHO for Business 7を使って説明しています。画面や利用できる機能が、お使いの[対象製品](#)と異なる場合があります。ご利用の製品に読み替えてご利用ください。

1.1. 概要

本書の設定をしてMicrosoft Entra IDと[MetaMoji Cloud](#)のユーザー情報を連携すると、[\[他のサービスでログイン\]](#)と[\[プロビジョニングの利用\]](#)をご利用いただけます。

【他のサービスでログイン】

[アプリケーション・ツール](#)の[\[他のサービスでログイン\]](#)画面から、Microsoft Entra IDの認証画面を経由してログインできます。

- ① ログイン方法を選ぶ画面で、[\[他のサービスでログイン\]](#)を押します。



- ② 法人IDを入力し、[\[ログイン\]](#)を押します。



- ③ [対象製品に含まれるツール](#)のログイン画面では、[\[他のサービスでログイン\]](#)を押します。[\[他のサービスでログイン\]](#)が表示されたら[\[法人ID\]](#)を入力し、[\[次へ\]](#)を押します。



- ③ Microsoft Entra ID の認証画面が表示されるので、Microsoft Entra ID のアカウントでログインします。

[アプリケーション・ツール](#)が開きます。

参考：[3.2. Windows版でログイン・ログアウトすると、Microsoft Edgeが起動する](#)（P.27）

設定方法：[2.2. \[\\[他のサービスでログイン\\]\]\(#\) の設定](#)（P.10）

- 2024年7月より、[\[他のサービスでログイン\]](#)は、オプションなしでご利用いただけるようになりました。

【プロビジョニングの利用】

最新のユーザー情報が、Microsoft Entra 管理センターから[MetaMoJi Cloud](#)へプロビジョニング（同期）できるようになります。（[アカウント連携オプション](#)の購入が必要です。）

プロビジョニングを開始したあとは、Web管理ツールではなく、Microsoft Entra 管理センターで[対象製品](#)を利用するユーザーの管理（新規追加・変更・削除）を行います。

設定方法：[2.3. ユーザー情報をプロビジョニングする設定（P.20）](#)

1.2. アカウント連携オプション

【[プロビジョニングの利用](#)】には、別途、アカウント連携オプションの購入が必要です。アカウント連携オプションが追加された環境では、Web管理ツールに次のメニューが表示されます。

- [Web管理ツールの\[カスタマイズ設定\]](#)に、【プロビジョニングの利用】が表示されます（P.6）。
- Web管理ツールの【操作ログ】に、以下の操作が記録されます。

プロビジョニング：ユーザー追加
プロビジョニング：ユーザー変更
プロビジョニング：ユーザー変更（割り当て削除）
プロビジョニング：ユーザー削除

1.3. 他のサービス

現在ご利用いただける他のサービス（IdP）は、Microsoft社の【Microsoft Entra ID】です。

■ 【IdP】とはIDプロバイダのことです。

1.4. MetaMoJi Cloud

[アプリケーション・ツール](#)で作成した文書や、Web管理ツールの設定（MetaMoJi Cloudのユーザー情報を含む）などを、インターネット上のサーバーで安全に保管・管理するMetaMoJiのクラウドサービスです。

1.5. 対象製品

- eYACHO forBusiness
- GEMBA Note for Business
- MetaMoji Share for Business

1.5.1. アプリケーション・ツール

アプリケーション

- eYACHO for Business 6/7
- GEMBA Note for Business 6/7
- MetaMoji Share for Business 6/7

対象製品に含まれるツール

- MetaMoji アシスタント
- MetaMoji Cloudツール

1.6. 管理者ガイド

ユーザーの登録方法などWeb管理ツールの使い方は、管理者ガイドでご確認ください。

- [eYACHO/GEMBA Note for Business 6/7 管理者ガイド](#)
- [MetaMoji Share for Business 6/7 管理者ガイド](#)

1.7. すでに［他のサービスでログイン］をご利用中の方へ

2023年5月のアップデートより、[アプリケーション・ツール](#)からログアウトすると、Microsoft Entra IDからもログアウトできるようになりました。Microsoft Entra IDにログアウト情報を追加してご利用ください。

→ [3.1. ログアウト情報を追加登録する（P.25）](#)

2. MetaMoji Cloud と Microsoft Entra ID を連携する

2.1. 共通の設定

Web管理ツールで [\[他のサービスでログイン\]](#) [\[プロビジョニングの利用\]](#) の共通設定をします。

2.1.1. Web 管理ツールにログイン

①Web ブラウザで、Web 管理ツールにアクセスします。

- Google Chrome、Microsoft Edge、Safariの最新版をご利用ください。
- Microsoft EdgeのInternet Explorerモード（IEモード）でのご利用は、サポート対象外です。



<https://mps.metamoji.com/admintool>

Web 管理ツール

- オンプレミス版ではご利用いただけません。
- Web管理ツールについては、[管理者ガイド](#)でご確認ください。

②ログイン画面に、次の情報を入力します。



- 法人ID
- Web管理ツールの管理者のユーザーIDとパスワード

③ [\[ログイン\]](#) を押します。

Web 管理ツールにログインします。

2.1.2. Web 管理ツールの[カスタマイズ設定]

- ① Web 管理ツールにログインし（P.6）、[カスタマイズ設定] を選びます。



- ② [他のサービスでログイン] と [プロビジョニングの利用] を「利用する」にします。

他のサービスでログイン	☐	☐	☒	● 利用する	☐ 利用しない
プロビジョニングの利用	☐	☐	☒	● 利用する	☐ 利用しない

- [プロビジョニングの利用] は、[アカウント連携オプション](#)を購入している場合に表示されます。

- ③ 画面右上にある[保存] を押します。



「保存しました。」と表示されます。

2.1.3. ユーザー情報を登録・確認する

2.1.3.1. ユーザー登録

[対象製品](#)をご利用いただくためには、[MetaMoj Cloud](#)にユーザー情報を登録する必要があります。Microsoft Entra IDとMetaMoj Cloudのユーザー情報を連携して[対象製品](#)を利用するためには、MetaMoj Cloudの [ユーザーID] にMicrosoft Entra IDの [UserPrincipalName] を登録します。

- Web管理ツールでユーザー情報を登録済みの場合

[2.1.3.2 ユーザー情報を登録・確認する \(P.9\)](#) の[注意](#)をご確認ください。

- Web管理ツールの「ユーザー一括登録」からユーザー情報を変更することもできます。
一括登録するときも、[注意](#)をご確認ください。
ユーザーを一括登録する方法は、[管理者ガイド](#)をご参照ください。

- MetaMojのユーザーとしてはじめて登録する場合

[アカウント連携オプション](#)を購入すると、Microsoft Entra 管理センターのプロビジョニング機能で、MetaMojのユーザーとして自動登録することもできます。→ [2.3. ユーザー情報をプロビジョニングする \(P.20\)](#)

限定ユーザー

招待する法人のMicrosoft Entra IDに 協力会社メンバーが登録されている場合、[2.1.3.2](#)の②でeYACHOの限定ユーザーとして登録できるようになりました（2024年2月）。

- 登録後、協力会社のメンバーは、招待する法人に登録されたMicrosoft Entra IDで [\[他のサービスでログイン\]](#) し、限定ユーザーとしてeYACHOを利用できます。
- 限定ユーザーは、プロビジョニングを利用できません。
- 限定ユーザーについては、[管理者ガイド](#)をご確認ください。

2.1.3.2. ユーザー情報を登録・確認する

- ① Web 管理ツールにログインし（P.6）、[ユーザー管理] を選びます。
- ② [登録されているユーザーの一覧] 画面の下部にある [ユーザーを新規登録] を押します。
 - 登録済みのユーザーは、名前を押します。[ユーザー情報の変更] 画面で情報を確認・変更できます。
 - 限定ユーザーを登録する場合は、[限定ユーザー] タブを選びます。



- ③ ユーザー情報を登録・確認します。

注意： Microsoft Entra IDと連携するために、以下のように設定します

- [ユーザーID（社員番号など）] に [Microsoft Entra ID] の [UserPrincipalName] を入力する
- [他のサービスでログイン] で [利用する] を選ぶ

[ユーザー]

[限定ユーザー]

- 表示される項目は、購入している製品やオプションによって異なります。

- ④ [登録] を押します。
- ⑤ 手順③～④を繰り返して、ユーザー情報を登録します。
- ⑥ 登録が終わったら、[閉じる] を押します。
- ⑦ [追加されたユーザーの一覧] 画面が表示されるので、[確認] を押します。
ユーザーが登録されます。

2.2. [他のサービスでログイン] の設定

[\[他のサービスでログイン\]](#) できるように設定します。[2.1. 共通の設定\(P.6\)](#) をしたあとで操作します。

2.2.1. Microsoft Entra ID に MetaMoJi Cloud の情報を登録する

2.2.1.1. MetaMoJi Cloud のシングルサインオン情報を記録する

2.2.1.1.1. Web 管理ツールで ID プロバイダの設定画面を表示する

- ① Web 管理ツールにログインし（P.6）、[\[他のサービスでログインの設定\]](#) を選びます。



- ② [\[ID プロバイダ設定\]](#) 画面で [\[詳細設定\]](#) を押します。



2.2.1.1.2. MetaMoJi Cloud のシングルサインオン情報を記録する

- ① [\[シングルサインオン \(SAML\)\]](#) タブが選ばれていることを確認します。
 - [\[プロビジョニング \(SCIM\)\]](#) タブは、[アカウント連携オプション](#)（P.4）を購入すると表示されます。



- ② [\[アプリケーション名\]](#) [\[識別子 \(エンティティ ID\)\]](#) [\[応答 URL \(Assertion Consumer Service URL\)\]](#) [\[ログアウト URL\]](#) を記録します。

「識別子（エンティティ ID）」について

MetaMojiで複数の法人IDをご契約されている場合、Microsoft Entra IDへ法人ID別の「識別子（エンティティ ID）」を設定できるようになりました（P.13）（2023年10月）。

オンにすると、法人IDを含むURLが表示されるので、記録します。

識別子(エンティティID) : <https://mps.metamoji.com/TJ111111>

☒（複数の法人IDをご契約のお客様のみ）EntraIDに対し複数のエンティティIDを設定する場合はこちらをチェックしてください。

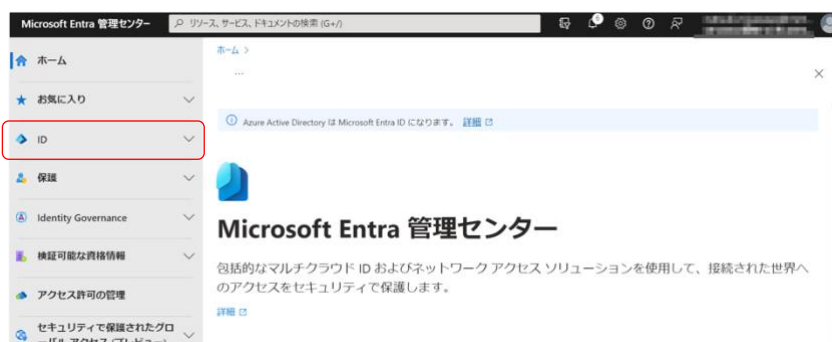
2.2.1.2. Microsoft Entra 管理センターに MetaMoji Cloud を登録する

2.2.1.2.1. Microsoft Entra 管理センターにサインインし、ID を選ぶ

① 管理者権限のあるアカウントで [Microsoft Entra 管理センター](#) にサインインします。

■ 管理者権限があるユーザーを確認・追加する方法は、Microsoft Entra管理センターのマニュアルなどでご確認ください。

② [ID] を選びます。



2.2.1.2.2. シングルサインオン対象アプリケーションに MetaMoji Cloud を登録する

① [アプリケーション] > [エンタープライズアプリケーション] を選びます。



② [+新しいアプリケーション] を選びます。



③ [+独自のアプリケーションの作成] を選びます。



④ [独自のアプリケーションの作成] 画面で、2.2.1.1.2 MetaMoji Cloud のシングルサインオン情報を記録する (P.10) の [アプリケーション名] を入力します。



⑤ [ギャラリーに見つからないその他のアプリケーションを統合します] を選びます。

⑥ [作成] を押します。

2.2.1.2.3. シングルサインオンの情報を登録する

- ① [シングルサインオン] を選び、[SAML] を選びます。



- ② [①基本的な SAML 構成] の [編集] を押します。



- ③ 2.2.1.1.2 MetaMoji Cloud のシングルサインオン情報を記録する（P.10）の [識別子（エンティティ ID）] [応答 URL（Assertion Consumer Service URL）] [ログアウト URL] を入力します。

基本的な SAML 構成

保存 | フィードバックがある場合

識別子 (エンティティ ID) * ⓘ
Azure Active Directory に対してアプリケーションを選択する一意の ID。この値は、Azure Active Directory テナント内のすべてのアプリケーションで一貫して必要です。既定の識別子は、IDP で開始された SSO の SAML 応答の対象ユーザーになります。

既定

識別子の追加

応答 URL (Assertion Consumer Service URL) * ⓘ
応答 URL は、アプリケーションが認証トークンを受け取る場所です。これは、SAML では「Assertion Consumer Service」(ACS) と呼ばれます。

イン... 既定

応答 URL の追加

サインオン URL (省略可能)
サービス プロバイダーによって開始されたシングル サインオンを実行する場合は、サインオン URL が使用されます。この値は、アプリケーションのサインオン ページの URL です。ID プロバイダーによって開始されたシングル サインオンを実行する場合は、このフィールドは不要です。

サインオン URL を入力してください

リレー状態 (省略可能) ⓘ
リレー状態は、認証が完了した後にユーザーのリダイレクト先となるアプリケーションを表示します。通常、これは、ユーザーがアプリケーション内の特定の場所に移行する URL または URL パスです。

リレー状態を入力してください

ログアウト URL (省略可能)
この URL は、SAML ログアウト応答をアプリケーションに返送するために使用します。

ログアウト URL を入力してください

④ [②属性とクレーム] の [編集] を押します。

ホーム > エンタープライズ アプリケーション | すべてのアプリケーション > Microsoft Entra ID > 設定 > MetaMoj

MetaMoj | SAML ベースのサインオン

エンタープライズ アプリケーション

メタデータ ファイルをアップロードする シングル サインオン モードの変更 このアプリケーションをテスト フィードバックがある場合

2 属性とクレーム 編集

属性名	値
givenname	user.givenname
surname	user.surname
emailaddress	user.mail
name	user.userprincipalname
一意のユーザー ID	user.userprincipalname

3 SAML 証明書

トークン署名証明書

状態	アクティブ
期限	7f14aa1d02ba69430e777207206f8f5f15ea15f
有効期限	2026/10/19 15:48:00
通知用メール	nataki.miyazawa@metamojidevtest.onmicrosoft.com
アップロード元 URL	https://login.microsoftonline.com/171438f...>
証明書 (Base64)	ダウンロード
証明書 (未加工)	ダウンロード
フェデレーション メタデータ XML	ダウンロード

⑤ [一意のユーザー識別子 (名前 ID)] が「user.userprincipalname」であることを確認します。

属性とクレーム

+ 新しいクレームの追加 + グループ要求を追加する 列 | フィードバックがある場合

必要な要求

クレーム名	種類	値
一意のユーザー識別子 (名前 ID)	SAML	user.userprincipalname...

追加の要求

クレーム名	種類	値
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/...	SAML	user.mail ***
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/...	SAML	user.givenname ***
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/...	SAML	user.userprincipalname ***

- 「user.userprincipalname」ではない場合、次の手順で変更します。
[一意のユーザー識別子 (名前 ID)] を押し、「ソース属性」から「user.userprincipalname」を選び、[保存] を押します。

要求の管理

保存

変更の放棄

フィードバックがある場合

名前

nameidentifier

名前空間

http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims

名前識別子の形式の選択

電子メール アドレス

ソース *

属性

変換

ディレクトリスキーマ拡張

ソース属性 *

user.userprincipalname

要求条件

user.onpremisesuserprincipalname

SAML クレームの詳細オプション

user.othermail

user.pairwiseid

user.physicaldeliveryofficename

user.postalcode

user.preferredlanguage

user.primaryauthoritativeemail

user.secondaryauthoritativeemail

user.state

user.streetaddress

user.surname

user.telephonenumber

user.userprincipalname

- 一意のユーザー識別子（名前ID） 以外は、*** > 「削除」から削除しても問題ありません。

属性とクレーム

新しいクレームの追加

グループ要求を追加する

列

フィードバックがある場合

必要な要求

クレーム名	種類	値
一意のユーザー識別子 (名前 ID)	SAML	user.userprincipalnam... ***

追加の要求

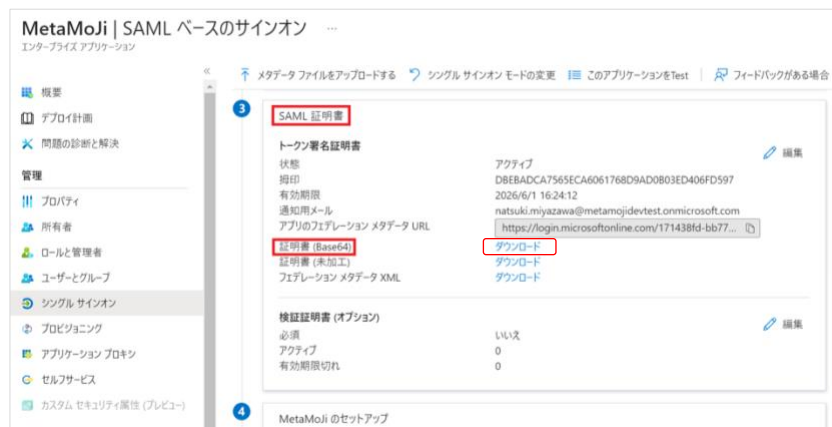
クレーム名	種類	値	
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/...	SAML	user.mail	削除
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/...	SAML	user.givenname	***
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/...	SAML	user.userprincipalname	***
http://schemas.xmlsoap.org/ws/2005/05/identity/claims/...	SAML	user.surname	***

詳細設定

2.2.2. シングルサインオン情報を MetaMoji Cloud に登録する

2.2.2.1. Microsoft Entra 管理センターでシングルサインオン情報をダウンロード・記録する

- ① [③SAML 証明書] の [証明書 (Base64)] にある [ダウンロード] を押します。
証明書がダウンロードされます。



- ② [④〇〇のセットアップ] の [ログイン URL] を記録します。

📋 を押すと、クリップボードにコピーできます。



2.2.2.2. Microsoft Entra ID のシングルサインオン情報を MetaMoji Cloud に登録する

- ① Web 管理ツールにログインし（P. 6）、[他のサービスでログインの設定] を選びます。
- ② [ID プロバイダ設定] 画面で、[詳細設定] を押します（P.10）。
- ③ [シングルサインオン（SAML）] タブの [ログイン URL] に、[2.2.2.1Microsoft Entra 管理センターでシングルサインオン情報をダウンロード・記録する（P.16）](#) で記録した [ログイン URL] を入力します。
 - [プロビジョニング（SCIM）] タブは、[アカウント連携オプション（P.4）](#) を購入すると表示されます。

- ④ [証明書（Base64）] の [ファイルから読み込む] を押し、[2.2.2.1Microsoft Entra 管理センターでシングルサインオン情報をダウンロード・記録する（P.16）](#) でダウンロードした証明書を読み込みます。
 - ⑤ [OK] を押します。
- [IP プロバイダ設定] 画面に [利用可能] と表示されます。

2.2.3. Microsoft Entra 管理センターでユーザーを割り当てる

2.2.3.1. [MetaMoji-Cloud-Servise] を選ぶ

- ① Microsoft Entra 管理センターに戻り、[ID] を選びます（P.11）。
- ② [アプリケーション] - [エンタープライズアプリケーション] を選びます（P.11）。
- ③ [MetaMoji-Cloud-Servise] を選びます。

新しいアプリケーション | 更新 | ダウンロード (エクスポート) | プレビューの情報 | 列 | プレビュー機能 | フィードバック

Azure AD テナントを ID プロバイダーとして使用するように設定されている、ご自身の組織内のアプリケーションを表示、フィルター処理、検索します。
組織で管理されているアプリケーションのリストは、アプリケーションの登録にあります。

アプリケーションの名前またはオブジェクト ID で... | アプリケーションの種類 == エンタープライズ アプリケーション | アプリケーション ID 次の値で始まる

9 個のアプリケーションが見つかりました

	名前	↑↓	オブジェクト ID	アプリケーション ID	ホームページ URL	作成日
ME	MetaMoji-Cloud-Servise...		09040a5b-2cc2-45f0-8eed-a...	b2cc2c00-c32f-4176-80e1-e...	https://account.activedirect...	2022/2/18
ME	MetaMojiClassRoom-dev		40410334-1c7b-4c4a-bdca-...	f97d98fe-a8ac-4d04-883c-e...		2022/4/6
ME	MetaMoji-Manual-Inspe...		55d6a659-6e82-4b70-b4fb-...	0f8cafad-0f37-45c3-890d-7...	https://account.activedirect...	2023/4/3
ME	MetaMojiClassRoom-de...		815c8320-28cb-4898-ad1b-...	e797de2c-0cde-4b39-8fc5-...	https://account.activedirect...	2022/4/6
ME	MetaMoji-Cloud-Servise...		931496e3-ca91-4b19-ad21-...	9ec19220-c306-447b-9604-...	https://account.activedirect...	2022/8/24
ME	MetaMoji		b9430f82-9869-4aa8-bb57-f...	f29159c5-3718-42a9-896f-5...	https://account.activedirect...	2023/4/6
ME	newpansy		bf8aa2f5-f882-4a80-979c-0...	6ff25805-f3d4-4cc8-9fd7-7...		2022/2/15
	oidcPansy		eb1aa6dd-3016-47ce-8150-...	0229711e-28d6-44bf-9258-...	https://product.metamoji.co...	2022/3/23
EP	eportalTest		f3269b92-9143-4196-ba8c-...	8d6897c7-6d9f-463e-85dd-...		2023/3/9

2.2.3.2. [MetaMoji-Cloud-Servise] にユーザーを割り当てる

- ① [ユーザーとグループ] を選びます。

ホーム > エンタープライズ アプリケーション > すべてのアプリケーション > Microsoft Entra ID ギャラリーを参照する > MetaMoji

MetaMoji | ユーザーとグループ ...

概要 | デプロイ計画 | 問題の診断と解決 | 管理 | プロパティ | 所有者 | **① ユーザーとグループ** | シングル サインオン | プロビジョニング | アプリケーション プロキシ | セルサービス

② + ユーザーまたはグループの追加 | 割り当ての編集 | 削除 | 資格情報の更新 | 列 | ...

アプリケーションは、割り当てられたユーザーのマイ アプリ内に表示されます。これを表示しないようにするには、プロパティの中で [ユーザーに表示しますか?] を [いいえ] に設定します。

ここで、アプリケーションのアプリのロールにユーザーとグループを割り当てます。このアプリケーションの新しいアプリのロールを作成するには、[アプリケーション登録](#)を使用します。

最初の 200 件を表示しています。すべてのユ...

表示名	オブジェクトの種類	割り当てられたロール
アプリケーションの割り当てが見つかりませんでした		

- ② [+ ユーザーまたはグループの追加] を選びます。

③ [割り当ての追加] 画面で [選択されていません] を選びます。

④ 追加するユーザーをオンにし、[選択] を押します。

名前	種類	詳細
☒ eYACHO割り当て1	ユーザー	wariatee1@metamojidevtest.onmicrosoft.o
☐ eYACHO割り当て2	ユーザー	wariatee2@metamojidevtest.onmicrosoft.o
☐ eYACHO割り当て3	ユーザー	wariatee3@metamojidevtest.onmicrosoft.o
☐ GEMBA割り当て1	ユーザー	wariateG1@metamojidevtest.onmicrosoft.c
☐ GEMBA割り当て2	ユーザー	wariateG2@metamojidevtest.onmicrosoft.c

③の [割り当ての追加] 画面に戻り、オンにしたユーザーの名前が表示されます。

⑤ [割り当て] を押します。

[\[他のサービスでログイン\]](#) できるか確認します。

- 特定のユーザーのみ [他のサービスでログイン] を [利用しない] に変更することもできます。
→ [2.3.4Web管理ツールでユーザー情報を確認する \(P.24\)](#)

2.3. ユーザー情報をプロビジョニングする設定

[プロビジョニングの利用] を設定します。[2.1. 共通の設定\(P.6\)](#) と、[2.2. \[他のサービスでログイン\] の設定\(P.10\)](#) をしたあとで操作します。

- 限定ユーザーは、プロビジョニングを利用できません。

2.3.1. Web 管理ツールでプロビジョニングに必要な情報を記録する

- ① Web 管理ツールにログインし（P. 6）、[他のサービスでログインの設定] を選びます。
- ② [ID プロバイダ設定] 画面で、[詳細設定] を押します。（P.10）
- ③ [プロビジョニング（SCIM）] タブを押します。
 - [プロビジョニング（SCIM）] タブは、[アカウント連携オプション](#)（P.4）を購入すると表示されます。

- ④ プロビジョニングの情報を記録します。

[テナントの URL] と [シークレットトークン] を記録します。

2.3.2. プロビジョニングで新規登録されるユーザーの初期状態を設定する

- ⑤ [デフォルトログイン方法] で [他のサービスでログイン] を [利用する] にします。
- ⑥ 利用する [ライセンス] をオンにします。
- ⑦ [ユーザー削除時のフォルダ設定] を選びます。

プロビジョニングからユーザーを削除したとき、ユーザーが保持していたフォルダを引き継ぐ場合は [引き継ぎ設定] をオンにし、引き継ぐユーザーのユーザーIDを入力します。
- ⑧ [OK] を押します。

2.3.3. プロビジョニング情報を Microsoft Entra 管理センターに登録する

- ① Microsoft Entra 管理センターにサインインし、[ID] を押します（P.11）。
- ② [アプリケーション] - [エンタープライズアプリケーション] - [MetaMoji-Cloud-Service] を押します（P.18）。
- ③ [プロビジョニング] を押します。



- ④ [+新しい構成] を押します。



- ⑤ [新しいプロビジョニング構成] 画面で [テナントの URL] と [シークレットトークン] に、2.3.1Web 管理ツールでプロビジョニングに必要な情報を記録するの④を入力します。

- ⑥ [接続のテスト] を押してから、[作成] を押します。
- ⑦ [新しいプロビジョニング構成] 画面を × を押して閉じます。
- ⑧ [属性マッピング (プレビュー)] の設定をします。

1. [属性マッピング (プレビュー)] を押します。

2. [Provision Microsoft Entra ID Groups] を押します。
3. [有効] を [いいえ] に変更し、[保存] を押します。

⑨ 「プロビジョニングの開始」を押します。



プロビジョニングが終わると、「完了済み」に完了日時が表示されます。

2.3.4. Web 管理ツールでユーザー情報を確認する

Web管理ツールにログイン（P.6）して「ユーザー管理」を選び、ユーザーが作成されていることを確認します。

名前	ユーザーID	属性	デバイス登録数	同期（プロビジョニング）	管理者権限	パッケージ管理者権限	
user1	user1@metamojidevtest.onmicrosoft.com		0	✓			✓
user2	user2@metamojidevtest.onmicrosoft.com		0	✓			✓
user3	user3@metamojidevtest.onmicrosoft.com		0	✓			✓
user4	user4@metamojidevtest.onmicrosoft.com		0	✓	✓		✓
user5	user5@metamojidevtest.onmicrosoft.com		0	✓			✓
user6	user6@metamojidevtest.onmicrosoft.com		0	✓	✓		✓
user7	user7@metamojidevtest.onmicrosoft.com		0	✓	✓		✓

「同期（プロビジョニング）」について

一度でもプロビジョニングが行われると、「同期（プロビジョニング）」にチェックマーク（レ）が付きます。プロビジョニング開始後は、Web管理ツールではなく、Microsoft Entra 管理センターでユーザーの管理（新規追加・変更・削除）をします。

MetaMoji 製品の権限などを設定する

「名前」を押して表示される「ユーザー情報の変更」画面で、ユーザーごとに設定を確認・変更できます。変更方法は、[管理者ガイド](#)でご確認ください。

- 製品のオプションやエディション
- ユーザー権限や属性
- 「他のサービスでログイン」を「利用しない」に変更

3. 付録

3.1. ログアウト情報を追加登録する

3.1. は、すでに「他のサービスでログイン」をご利用中の方のみ必要な設定です。

→ [1.7. すでに「他のサービスでログイン」をご利用中の方へ（P.5）](#)

3.1.1. MetaMoJi Cloud のログアウトに必要な情報を記録する

- ① Web 管理ツールにログインし（P. 6）、「他のサービスでログインの設定」を選びます。
- ② 「ID プロバイダ設定」画面で「詳細設定」を押します（P.10）。
- ③ 「シングルサインオン（SAML）」の「ログアウト URL」を記録しておきます（P.10）。

3.1.2. Microsoft Entra 管理センターにログアウトに必要な情報を登録する

- ① Microsoft Entra 管理センターにサインインし、「ID」を選びます（P.11）
- ② 「アプリケーション」 - 「エンタープライズアプリケーション」 - 「MetaMoJi-Cloud-Service」を選びます（P.18）
- ③ 「シングルサインオン」を選びます。



- ④ 「①基本的な SAML 構成」の  を押します。

- ⑤ **［ログアウト URL］** に[3.1.1 MetaMoji Cloud のログアウトに必要な情報を記録する（P.25）](#)の③を入力します。

基本的な SAML 構成

[保存](#) | [フィードバックがある場合](#)

識別子 (エンティティ ID) * ⓘ
Azure Active Directory に対してアプリケーションを識別する一意の ID。この値は、Azure Active Directory ポータル内のすべてのアプリケーションで一貫して必要があります。既定の識別子は、IDP で開始された SSO の SAML 応答の対象ユーザーになります。

既定
 ✓ ③ ⓘ 削除

[識別子の追加](#)

応答 URL (Assertion Consumer Service URL) * ⓘ
応答 URL は、アプリケーションが認証トークンを受け取る場所です。これは、SAML では「Assertion Consumer Service」(ACS) と呼ばれます。

イブ... 既定
 ✓ ⓘ 削除

[応答 URL の追加](#)

サインオン URL (省略可能)
サービス プロバイダーによって開始されたシングル サインオンを実行する場合は、サインオン URL が使用されます。この値は、アプリケーションのサインオン ページの URL です。ID プロバイダーによって開始されたシングル サインオンを実行する場合、このフィールドは不要です。

✓

リレー状態 (省略可能) ⓘ
リレー状態は、認証が完了した後にユーザーがリダイレクト先となるアプリケーションを指示します。通常、ユーザーをアプリケーション内の特定の場所に移転する URL、または URL パスです。

ログアウト URL (省略可能)
この URL は、SAML ログアウト応答をアプリケーションに返送するために使用します。

✓

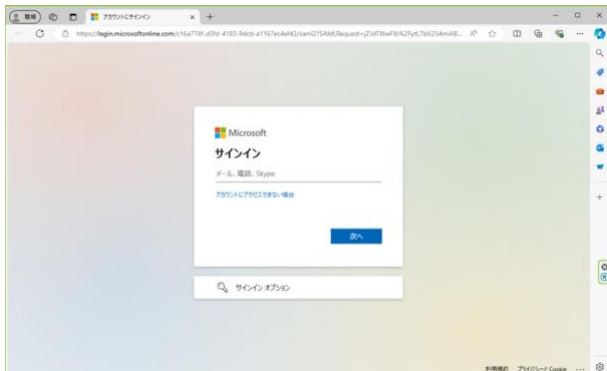
- ⑥ **［保存］** を押します。

[アプリケーション・ツール](#)から一度ログアウトします。次に対象製品へ「他のサービスでログイン」したときから[3.1.](#) の設定が有効となります。

3.2. Windows 版でログイン・ログアウトすると、Microsoft Edge が起動する

Windows版の[アプリケーション](#)では、[\[他のサービスでログイン\]](#)の③で、Microsoft Edge（Web ブラウザ）が自動的に起動し、Microsoft Entra IDの認証画面が表示されます（2024年7月）。

①自動的に起動した Microsoft Edge で、Microsoft Entra ID の認証をします。



[アプリケーション](#)の画面は「Microsoft Edgeで認証を行ってください。」と表示されますが、認証が終わると自動的に[アプリケーション](#)が起動します。

Microsoft Edgeの画面から起動することもできます。



- 「このサイトは（[アプリケーション名](#)）を開こうとしています。…」の画面で、「mps.metamoji.comが、関連づけられたアプリでこの種類のリンクを開くことを常に許可する」をオンにし、[開く]を押します。
- 自動的に[アプリケーション](#)が起動しない場合は[アプリを起動]を押します。

② [アプリケーション](#)が起動できたら、Microsoft Edge は閉じておきます。

また、Windows版では、[アプリケーション](#)からログアウトするときにもMicrosoft Edge（Webブラウザ）が自動的に起動します。ログアウトしたら、Microsoft Edgeを閉じます。

